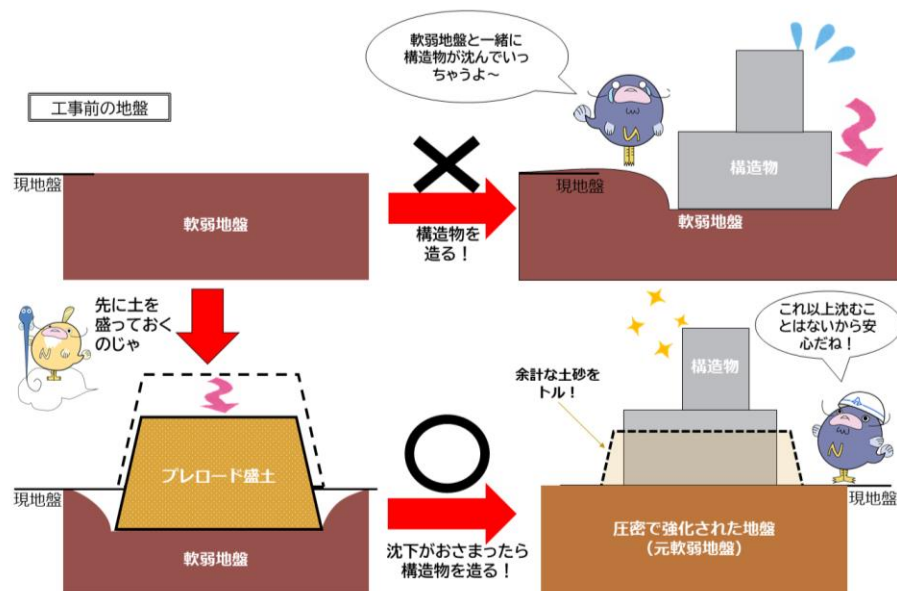


TOPICS プレロード盛土って？

沼川新放水路の国道1号より北側の事業地では、「プレロード盛土」という工事を行っています。

この地域の地盤は非常に軟弱であるため、構造物をつくると、どんどん沈んで行ってしまいます。そこで、構造物と同じくらいの重量の土を盛り、先に地盤を沈下させます。これにより、地盤の強度が高まり、新たな構造物をつくっても沈下が起きず、設計どおりの施設が完成します。

しかしながら、プレロード盛土による沈下が完了するまでに、かなりの時間を要します。その間、既設の水路系統や田畑への乗り入れを確保しながら、周辺の耕作に支障とならないように工事を進めていきます。



なまずくん通信 14

沼津土木事務所
沼川新放水路整備課
R6. 7. 30発行



令和6年6月11日 撮影（沼工生現場見学風景）



なまずくん通信とは
この広報紙「なまずくん通信」では、沼川新放水路整備事業を中心に、沼川流域における治水対策事業について分かりやすく説明していくとともに、これからの川づくりの最新情報をお知らせしていきます。

沼川新放水路整備課職員を紹介

沼川新放水路整備課の令和6年度メンバーを紹介させていただきます。

写真の前列右より、原田主任、大島技師、後列右より、里吉技師、露木課長、小塩技師、山崎主査、望月班長、望月主査の8名となります。

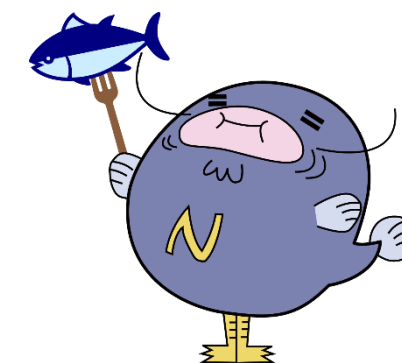
工事業者との打ち合わせや現地調査など、工事現場にお邪魔しますので、お気軽にお声掛けください。

今後も沼川流域全体の治水安全度の向上に向けて努めて参りますので、よろしくお願いいたします。



目次

- ✓ 沼津工業高校の生徒が現場を見学しました
- ✓ あれから50年……七夕豪雨を振り返る
- ✓ 県道富士清水線地下の河川トンネル工事に着手！
- ✓ 高橋川の災害復旧工事が完成しました
- ✓ TOPICS プレロード盛土って？
- ✓ 沼川新放水路整備課職員を紹介



沼津土木事務所 沼川新放水路整備課
Tel: 055-920-2129



沼津工業高校の生徒が現場を見学しました

令和6年6月11日に沼津工業高校の3年生25名が、沼川新放水路の工事現場を見学しました。

当工事の現場監督は、株式会社山田組若手技術者の山口氏（22）です。また、沼津工業高校OBでもあることから、沼工生から1日のスケジュールや現場の大変なことなど、色々な質問を受けておりました。

施工現場では、完成後には立ち入ることができない河川トンネルを見学できたことも、貴重な体験になったのではないのでしょうか。

静岡県土木業界の未来を担う若者たちの今後の活躍に期待大ですね。



静岡県職員による事業説明



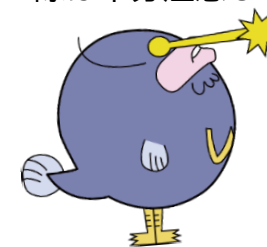
現場監督から工事説明

県道富士清水線地下の河川トンネル工事に着手！

令和4年11月より県道富士清水線を海側に迂回させており、これまでに土留め（土が崩れるのを防ぐこと）矢板を打ち込む工事や地下水対策の工事（薬液注入）が完了しました。

現在、株式会社山田組と契約し、5月より現場着手しました。今後は、地下14mの深さまで掘下げ、河川トンネル本体をつくっていきます。

県道復旧は、来年秋頃を予定しておりますので、通行の際は十分注意して走行願います。



県道交差部の着手前状況（令和6年4月）

あれから50年……七夕豪雨を振り返る

昭和49年（1974年）の7月7日から8日にかけて、台風8号の影響により猛烈な豪雨が沼津市・富士市の広範囲を襲い、床上浸水695戸、床下浸水1369戸の被害を記録しました。

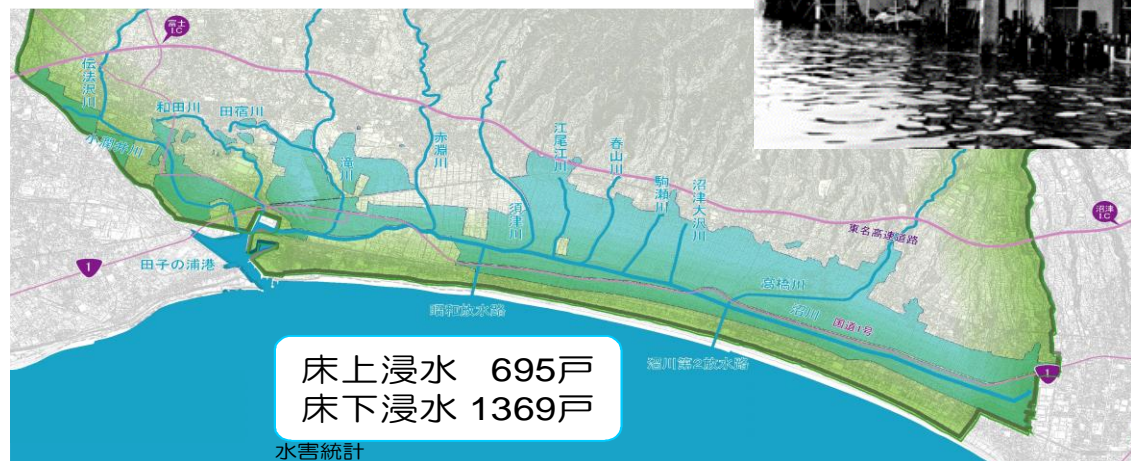
近年は、線状降水帯による豪雨や台風の大型化など雨の降り方が変わってきており、七夕豪雨以上の規模の豪雨も発生しています。皆さまも避難所の確認をはじめ、日ごろの備えをお願いいたします。



沼津市今沢



沼津市原



昭和49年7月七夕豪雨による浸水範囲

高橋川の災害復旧工事が完成しました

令和4年11月の大雨及び令和5年6月の台風2号によって被災した高橋川（柳沢）の災害復旧工事が完了しました。

崩落した護岸を積みなおすだけでなく、川底の深掘れを防ぐため、直方体のコンクリートや石を詰めたネットを設置し、今後の大雨に備えたつくりをしています。



復旧前写真

復旧後写真